

【平成17年度専修学校社会人キャリアアップ教育推進事業】

事業名	IT管理者養成教育プログラム開発		
学校法人名	学校法人 丸橋学園		
学校名	渋谷外国語専門学校		
代表者	理事長 平野 洋	担当者・連絡先	生涯教育部 柳瀬 和久 (03)3422-6281
<p><事業の概要></p> <p>(1)事業名 IT管理者養成教育プログラム開発</p> <p>(2)委託事業の実施期間 平成17年7月15日から平成18年3月17日まで</p> <p>(3)事業概要 e-Japan 戦略に基づき作成された e-Japan 重点計画の横断的な課題として示された、「ITに関する職業能力開発」、「雇用機会の創出と円滑な労働移動の促進」に対応するため、普通職業訓練、短期課程へIT管理者養成教育プログラムの導入が効果的であると考えられる。そこで、委託訓練校としてこれまでのIT教育の実績と新たなITの動向と企業ニーズを踏まえ、そのために必要な教材開発と、より効果的な教育訓練に繋がるカリキュラム編成について、他の公共職業訓練の先導的モデルとなるべく、教育訓練プログラムの研究開発を行う。</p> <p><事業の経緯></p> <p>独立行政法人雇用・能力開発機構生涯職業能力開発促進センター、日本商工会議所、IT実務と教育の両分野に精通する実施委員会メンバーによる基本的方向づけを行い、それを踏まえ、分科会ではより詳細な検討を行い、カリキュラムの編成、使用教材の作成などを行った。</p> <p>また、研究開発された教育訓練プログラムや使用教材の有効性を確認する実証講座を3回にわたって実施した。</p> <p>本研究開発の目的は汎用的なものを目指すもので、研究開発の成果は、年度末に、関係省庁、他の専修学校やIT企業を対象とした成果報告会を開催し、広く普及を図る。また、報告書の配布も予定している。</p> <p><事業の実施内容></p> <p>(1)教育プログラム開発の内容について</p> <p>①目標：OS とハードウェア、ネットワーク、Linux、Web、エンタープライズコンピューティング、ビジネスコンピューティング、EC実践管理、ITインストラクションなどIT管理者として必要不可欠な知識と技能を基本レベルから学ぶことにより、関連資格取得のための実力を身に付け、企業におけるIT化を推進し、ITの運用・管理ができる人材を養成する。</p> <p>②対象者：文書作成ソフト、表計算ソフトの基本操作ができ、訓練内容を基礎から始</p>			

めていきたい方

③仕上がり像：企業におけるIT化を推進し、ITの運用・管理ができる人材

④研究開発方法：新たなITの動向と企業ニーズを踏まえ、最新の知識・情報をわかりやすく、かつ、より効果的な教育訓練に繋がるカリキュラム編成とそれに必要な教材などの研究開発を行う。

(2) ニーズ調査、実態調査、実地調査等各種調査について

普通職業訓練、短期課程へIT管理者養成教育プログラムの導入を行うため新たなITの動向と企業ニーズを探るため、アンケート調査、ヒアリング調査を行った。

(3) 実証講座等について

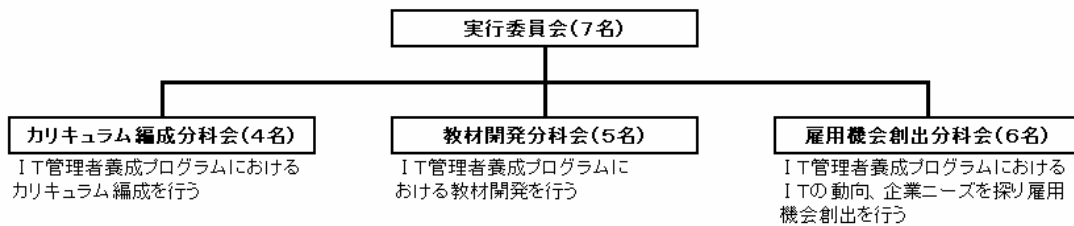
「OSとハードウェアの管理」(2日間、12時間)

「エンドユーザー・コンピューティング(業務知識・企業システム)」(1日間、6時間)

「ネットワーク管理」(3日間、24時間)

「エンドユーザー・コンピューティング(データベース)」(1日間、6時間)

<事業実施体制>



<事業の成果>

上記実施体制のもとで、IT管理者養成教育プログラムにおけるカリキュラム編成、教材開発を行った。カリキュラム、教材の的確性を検証するために実証講座を実施した。企業ニーズを調査・分析し、結果を本プログラム全体に反映させた。

事業全体の成果を発表するため成果報告会を実施し、その報告を本報告書に取りまとめた。

<今後の課題と展望>

本プログラムを普通職業訓練、短期課程で実施していく中でさらに検証を進め、問題点などがあれば改善のための施策を行っていきたい。

IT管理者養成教育プログラムは、カリキュラム編成と教材開発を中心とした教育訓練における内容面、いわば何を教えるかの検討であったが、今後はいかに教えるか、すなわちITインストラクター養成教育プログラムの開発を研究課題としていきたいと考える。